

単元名 **ならべて ならべて(造形遊び)**

配当時間 **3時間**

単元の目標 (1) 身の回りにある材料の形や色を見付け、工夫して並べることができる。
(2) 身の回りにある材料を、並べながら面白い形を考えるとともに、できた形の面白さを感じとることができる。
(3) 身の回りにあるもので並べてみたいものを見付け、それらを並べていくことを楽しもうとする

標準的な展開例

01080202_001

【準備等】 身近材（木の枝、石、木切れ、紙コップ、落ち葉、ペットボトルキャップ、割り箸、ストローなど）

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 並べる造形活動について知り、身近にある材料を集める</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書の参考作品を見て、感想を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・長い道みたい。 ・いろいろなものを並べておもしろそう。 ★いろいろな材料を工夫して並べよう ○どんな材料を並べたいか発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・木切れ ・落ち葉 ・石 ○材料を集めたり、準備したりする。 <p>2～3 身近にある材料を、並べる造形活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○材料を並べる場所を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・教室 ・校庭 ・中庭 ○材料をどんどん並べながら思い付いたり、考えたりしたものをつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ペンを色の順番に並べていくと、きれいだよ。 ・カップ同士を割り箸でつないで、橋みたいにしよう。 ・落ち葉を丸くならべるとひまわりみたいだね。 ○造形活動で工夫したところや友達の前で造形活動のよさを発表し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの線路はどこまで続いていっているんだろうについていってみよう。 ・この並べ方すごいね。どうやってやったの。 ○後片付けを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所を元通りにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 1・2 上 P. 48, 49 ・好きな材料を並べたり積んだりしていることに気付かせる。 ・児童の気付きやつぶやきに寄り添い、気付いた材料や用具と一緒に確認し、できそうなことを問いかける。 ・人工材ばかりでなく、自然材も集めさせる。 ・自分の持っている学習用具や持ち物、学校にある物から始める方法もある。 ・次時まで、活動ができるように十分集めさせておく。 ・児童の活動に広がりをもたせるために場所を確認しておく。 【評】学習活動を通して、材料の特徴から、並べ方やつなぎ方を思い付く「思考・判断・表現」を評価する。 ・体全体で材料と関わり、並べ方を工夫させる ・ルールを決めて安全に配慮する。 ・思い付いたことを実現するために並べ替えさせてもよい。 ・グループの活動になっていく場合があってもよい。 ・活動の過程でいろいろな並べ方をしている子どもたちの活動を取り上げて紹介したり、別の並べ方を提案したりする。 【評】学習活動を通して、材料の特徴を生かして、工夫して並べる「知識・技能」を評価する。 【評】学習活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・作品がある場所に全員で移動し、発表を聞かせる。 ・どのように並べたのか、つくった児童にも鑑賞した児童にも思いを聞く。 ・半分の児童は自分の活動場所に待機し、見に来た友人に説明する、途中で立場を入れ替える方法で活動を行ってもよい。 ・授業の最後に、普段の生活や身の回りの自然の中の形や色、その並び方や組合せの面白さに気付いていけるような声掛けをする。 【評】工夫したことを伝え合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・活動の後は、材料や用具を元の場所に片付けるよう指示する。

【 備 考 】